

---

# 臨海学校

絵利香

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

臨海学校

### 【Nコード】

N7946Z

### 【作者名】

絵利香

### 【あらすじ】

2年生の臨海学校に、海外組の彼らが来ちゃった？

しかも他の奴らも？無事に終わるの…？

「さて、今日から楽しい臨海学校です。拓人は私の前に来なさい」

倉間「先生、職権乱用です」

「知りません」

今日から2年生は、私：エリカ・バルチナスが前の名字である影山・及び亜風炉だった頃に所有している海岸。そのホテルに3泊4日で宿泊することに。

鬼道「俺は神童の席に移れということか？」

「それでもいいよ。嫌なら拓人は私の膝だもの」

鬼道「移ろう」

素早く移動する鬼道。入れ替わるように拓人が。

男子1「それ、ダメじゃないんですか？」

鬼道「親子だからな。仕方ない」

酔いやすい拓人は、傍にいてくれた方が安心できる。

神童「き…気持ち悪い…です…お母様…」

「あらあら、早速…はい、袋」

マエストロ、あなた何で出ているの。そして、何で手を受け皿にしているの。

任せたわとは言ったけど、これは任せられないわ…。

バスは出発して、高速に乗った所。

少し揺れ過ぎね、このバス。

「ごめんなさいね、私がこんなに揺れるバスをチャーターしてしまっただから…」

苦しいでしょう？というのと、青い顔をして首を横に振った。

神童「お、俺が酔いやすい体質だからです…すみませんお母様…」

浜野「だいじょーぶか神童」

「…まだ海ではありませんよ」

浜野くんが海パン姿で顔をひょっこり出してきた。

向坂くんも、気分転換にとゲームに誘ってくれた。

「大丈夫？酔い止め飲んだ？」

神童「はい…」

向坂くんの誘いを受け、霧野くんたちの場所へ一度は戻ったものの、

霧野「ねええこおお!!」

神童「り…りばーす…」

「…鬼道、連れ戻してきてくれる？」

結局、さっきの形に。

「眠っていた方がいいわ。横になりなさい」

神童「はい…お母様…」

コテンと膝枕。スヤスヤと眠る拓人は、少しは苦しくなくなったみたい。

もうすぐ目的地だけど、部屋で寝かせておいてあげましょう。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7946z/>

---

臨海学校

2011年12月25日16時54分発行